



オクラホマ州立大学 留学報告書

私が留学に行ったアメリカのオクラホマ州にある、オクラホマ州立大学です。自然豊かなオクラホマでの4か月間の留学生活は想像していた何倍も思い出深いものでした。そして、4か月の留学生活の中で多くの面で自分自身が成長できたと感じています。今回は授業内、寮での生活、友達との会話の3つに分け、その中で感じた成長について述べたいと思います。

まず、私が授業内で感じた成長の1つ目は、書く力の向上です。授業内で文章の書き方を学んだことで、英語でより効果的に文章を書く力を身に着けました。参照や引用の方法も学び、現地の学生と同じようにレポートを書くことができるようになりました。また、英語を話すことに対する考え方も変わりました。アメリカ到着当初は間違えることが恥ずかしいと感じていました。ですが、先生たちは私が完ぺきな英語を話せていなくても嫌な顔一つせず、ゆっくり話を聞いてくれるだけでなく、考える時間を与えてくれました。その経験から、はじめは伝えるのが難しそうだから言わないでおこうとあきらめていたことも挑戦できるようになりました。その挑戦が新たな単語やフレーズの学習にもつながっていきました。また、授業内で様々なことを学ぶ中で、興味を持って意欲的に学習を進めることができるようになりました。特に、授業内で学習したネイティブアメリカンと黒人差別の歴史については深く興味を持ちました。金曜のアクティビティクラスでは、ミュージアムに行く機会があり、現地で実際に見て聞いて学ぶことでより深く学ぶことができました。実際にあった話を聞くことは何が起こったか詳しく知れるだけでなく、関係者の当時の心境を聞くことができる点が自分の中にたくさんの疑問や感情を芽生えさせました。

次に、寮生活を通して自立できたように感じています。私にとってこの留学が初めての家族と離れての生活でした。寮生活は、当たり前ですが、実家暮らしとは違い、自分自身ですべての家事をやらなければいけません。毎日、1日の流れや何を優先してやるべきかを考え、生活していました。そして、多くの学生がジムに行くことや、食事を自分で考えなければいけないことから、自分自身の体や食事についても興味を持ちました。結果、一人で何でもでき、効率的に動けるようになっただけでなくよりよい生活を目指して生活することができました。はじめは慣れない生活でうまくいかないことに落ち込むこともありましたが、1人で生活できるようになったことは自信にもつながりました。また、共有スペースは自分で使ったものは自分で片付けないと、みんなが気持ちよく使うことができません。そこから、掃除を意欲的にするなど、周りの人のことを考えて行動できるようになりました。

最後に、友達との会話の中で感じた成長について述べます。まずは、授業内でも挙げた通り、英語力の向上を感じました。日々の友達との会話を通じて、スムーズに会話できるようになりました。何度も聞き返されることがなくなったことや、4か月前と今のスピーチの録音から、発音の面で明らかな変化を感じることができました。会話によって関係性も深まり、段々とパーソナルな話もできるようになりました。そこから、日本とは全く違った宗教や価値観について学ぶことができました。オクラホマはキリスト教徒が多く、キリスト教の起源や聖書の物語などを知ることができました。これをきっかけに、寮内の留学生の宗教についてなど、キリスト教以外の宗教にも興味を持ちました。ただ教えてもらうだけでなく、自分自身の宗教や日本の文化について伝えたいと思い、日本について改めて学ぶいい機会にもなりました。育った環境や宗教によって考え方が違うことに驚きましたが、同時にそれを尊重しなければならないとも思いました。

このように、様々な場面から多くの学びや成長を感じました。どの場面でも共通して、新たなことに興味を持つきっかけが沢山ありました。自分が何に興味があるかを知れたことは今後のキャリアを考える上で大きな手助けになると思いました。そして何より、それらの学びから、今までの自分にはなかった新しい考えが思いつき、異文化を受け入れることができるようになりました。この4か月楽しい思い出だけでなく、精神面、考え方、英語力など成長を感じることができ、意味のある留学生活になったと思います。